

エジプトを紀行

Listen to Egypt

Kyoji





ギザの砂漠には、観光客が多い。これを見ると、街よりも砂漠の領域のほうが、カラフルなことがわかる。

しかし、もっと基本的なことで気がつくことはないだろうか。海と地平線みたいな曖昧さに、私たちは騙されてしまう。

【子供の発想力】 what do you do if you're kid?



下の石から順に抜いていったら、このストラクチャーはどうなるだろう。リアルジェンガはこうやって遊ぶのだ。

それ以前に、どうやって抜こうか。ひとつ約2トンなのに。

【変わらぬ視線】 what's he looking at?



何年ここに鎮座しているのか。彼がはじめてこの地に腰をおろしたとき、私は生きていなかった。キリストも生きていなかった。月は、生きていたかもしれない。

彼は長年の間、この地でいろいろなものを見続けてきたのだろう。もし彼に生物の脳があるとしたら、情報過多でクラッシュしてしまう。でも大丈夫。今、彼が考えているのはひとつだけだ。目の店に入ってみたいと願うばかり。

彼が見つめる先には、KFCがある。

【太陽の船】 shipping underground



ギザの大ピラミッドのすぐそばを泳いでいた船には、船員が誰も乗っていなかった。砂の中では、人は生きられないからだろう。

【現地の人が人の手で】 a hole filled with darkness



うっかり落ちたら生きて戻ってこれないのか。それとも、うっかりで戻ってこられるような、そんな思慮の足りない穴なのか。

【ほとんど人骨】 hot and jinx



砂の中から人骨を取り出す感慨深さは、やってみないと絶対にわからない。

【ヴァージンロード】 nothing but a gate



私ははじめてだったが、この道はすでに花嫁だけでなく、さまざまな人種の人々に踏み固められているだろう。

【どうしてここにちくわが】 looks like boiled fish paste



本物なら、とっくに犬と鳥と虫に食べつくされているだろう。先の三種の動物は、普通に砂漠に生息する。

【異界への扉】 disappearing existence



入る気にはならなかった。暗闇がこわいのではなく、有刺鉄線がこわかったからだ。

【さざ波】 beautiful because of solid



踏みしめてもかたちが崩れないのは誰の意思なのか。強固な意志ほど、色褪せて単純化するものだ。



構成因子には意思が宿り、ひとつの集合を成したとき、すべては混成し統合する。そうなるともう誰も、自分が全体の一部だとは信じないだろう。

【休憩】 smoking free



砂漠は喫煙。観光客は、世界一大きな灰皿の上を歩いている。

【8の形成】 shadow shows us some illusion



かたちは違えど、ほとんどが8。稀に異種が生まれてしまうのは、いったい誰の仕業なのか。

【背比べ】 who's No.1?



子供がレゴでつくったなら、もっと明確な差が出てしまうだろう。

【先入観】 doubt your commonsense



レリーフではない。本物だ。たくさん病原体を持っているので、誰も触れない。彼らは何を食べて生きているのだろう。

【斜影】 still hot enough



砂漠のすぐそばにある博物館。勤務中に煙草の煙を吐き続ける不真面目な警備員の目をかいくぐって、彼は安寧の極楽地を求める。

【新旧の差】 working environment is important



働く環境によって、能力差は確実に出てくる。しかし、本来の機能にたいした違いはないのだから、人間の発明などその程度のものだということになる。

エジプトを紀行-Listen to Egypt-

<http://p.booklog.jp/book/6501>

著者 : Kyoji

著者プロフィール : <http://p.booklog.jp/users/ireadforpleasure/profile>

発行所 : ブクログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社 : 株式会社paperboy&co.

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/6501>

ブクログのパブー本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/6501>